

**栃木県読書活動推進計画（案）に対するパブリック・コメントの実施結果について
提出意見とそれに対する栃木県の考え方**

「栃木県読書活動推進計画（案）」に対する意見募集を行った結果、4名の方から計9件の御意見を頂きました。貴重な御意見をありがとうございました。

提出された御意見を十分検討の上、それに対する県の考え方を次のとおりまとめました。

項 目	意 見 の 内 容	意見に対する考え方
<p>(15ページ) 第3章 読書活動推進の基本方針 2 指標の設定について</p>	<p>指標1の目標値が、基準値のすべて10%未満切り上げの数値になっているが、設定根拠などを記載したほうが良いのではないか。 指標3についても同様である。</p>	<p>【原案どおり】 目標値は、基準値を元に現状を把握し、栃木県読書活動推進協議会の委員と協議の上、県民の皆様が意識しやすい整数値としました。</p>
<p>(15ページ) 第3章 読書活動推進の基本方針 2 指標の設定について</p>	<p>「栃木県子どもの読書活動推進計画（第四期）」の不読率（1か月に1冊も本を読まない子どもの割合）指標を継続し、より積極的な読書推進活動をすべきである。</p>	<p>【原案どおり】 不読率についても継続して把握しますが、本計画の指標は、以下の点を考慮し、読書時間に視点を置いた設定としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1冊を読むのにかかる時間は、本のページ数や読む速度等により異なること。 ・読書の対象の多様化（新聞、電子書籍等）により、冊数では、読書活動の実態を把握しきれないこと。
<p>(22ページ) 第4章 県民の読書活動推進のための方策 4 学校等における子どもの読書活動の推進 ビブリオバトルについて</p>	<p>ビブリオバトルを学校内における本を勧め合う機会と捉え、子どもの読書への関心を高める取り組みの手法として掲げているが、これを学校内に限らず、社会で幅広い年代に向けての取り組みとすることを推奨する。</p>	<p>県民の皆様が読書活動に親しむことができるよう、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
<p>ビブリオバトルについて</p>	<p>ビブリオバトルの効果も記載することで、多くの県民がビブリオバトルを始める契機としていただきたい。</p>	<p>【原案どおり】 ビブリオバトルは読書活動推進の有効な手法のひとつであり、その普及を目指します。</p>

項 目	意 見 の 内 容	意見に対する考え方
高齢者の不読率改善について	高齢者の不読率を改善することにより、豊富な情報を読書で獲得し、社会貢献や就業をすることに導けば、それは高齢者に生きがいと幸せをもたらすと考える。	今後の施策の参考とさせていただきます。
駅との連携について	計画の対象が全県民であるため、教育現場以外の取組として、駅との連携をするのはどうか。	県民の皆様が読書活動に親しむことができるよう、今後の施策の参考とさせていただきます。
予算等について	読書推進活動に対しては他県の水準などを更に超える予算・人員を恒常的にかけても良いと思う。	今後の施策の参考とさせていただきます。
大学への働きかけについて	県内大学に、高いレベルの人文・美術・理学系の教育・研究ができるような体制をより強化してもらいように働きかけたらどうか。計画を全県民に向けてトータルで考え、良い循環ができるように、県内大学に既存の教育・研究体制に加えて幅広い分野の人達を手厚く受け止められる体制を整えていただけると良いと思う。	今後の施策の参考とさせていただきます。
新県立図書館の整備について	新県立図書館又は分館の場所を宇都宮駅周辺、あるいは旧パルコにしてはどうか。現在の県立図書館は、バリアフリーとは言い難く若い人などにはあまりアピールしないように思う。また、駅の近くにあったほうが、様々な県民が利用しやすい県立図書館ができるように思う。	「栃木県『文化と知』の創造拠点整備構想」の策定に向け、検討委員会において検討を進めており、こうした議論も踏まえながら読書活動の推進について検討して参ります。